

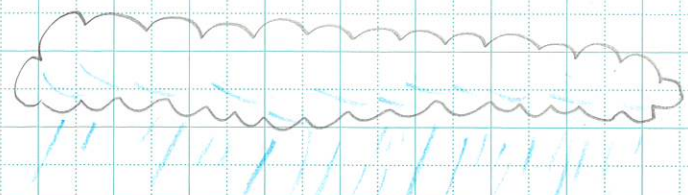
流れる水のはたらき

地面を流れる水

流れる水には、地面をけずるはたらき(しん食)
 か土や石を運ぶはたらき(運はん)。土や石を
 種もらせるはたらき(たい種)がある

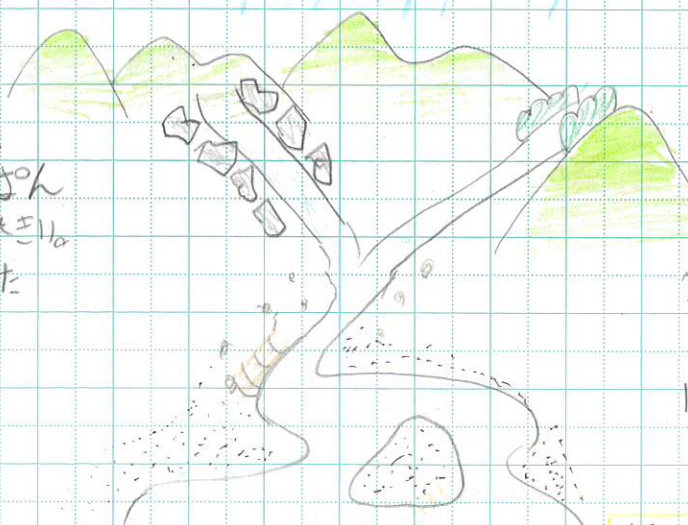
流れる水の量が変わるとき水量が増えるとしん食したり
 運はんしたりするはたらきが大きくなる。

川の流れとそのはたらき



山の中

- 流れが速く
しん食や運はん
のはたらきが大きい。
- 大きく角ばった
石が落ちる。



平地

外側: 流れが速く
深い
内側: 流れがおそく
浅い

海や湖の近く

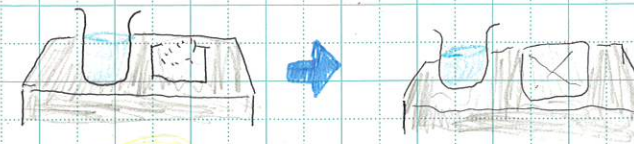
• 流れがおそくたい種のは
たらきが大きい。
• すなやところがつまっている。

大雨がふると...
 流れが速くなり、川岸がけが
 られたり、水があふれたりする。

災害
に注意!

もののとけ方

水にとけたもののおもさ



ものをとけす
 前の全体の重さ = ものもとけた
 後の全体の重さ

「ものが水にとける」とは、
 • すきとおっている
 • ものが均一に広がっている
 • 時間がたってもとけたもの
 は、水と分かんない

とけて見えなくなっても、とけたものは水よう液の中にある。

ものが水にとける量

食塩やシロバンが水にとける量

- ものが水にとける量には限りがある。
- ものによ、水にとける量がちがう。

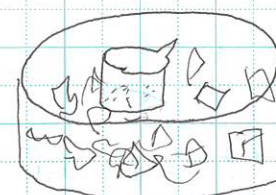
水の量とものがとける量

- 水の量をふやすと、水にとけるものの量も増える。

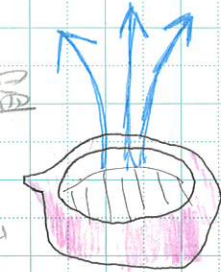
水の温度とものがとける量

- 水の温度を変化させたりすると、とける量の変換のしかたは、
 とかすものによてちがう

とけたものをとりだすには、



• 水よう液の温
 度を下げるし
 ずを取りだ
 すことができる
 (シロバン)



• 水よう液から水を
 しょう発せると
 ずを取りだすこ
 ができる。
 (シロバン, 食塩)